



- ・新研究所長・副研究所長就任の挨拶
- ・IGLオンラインセミナー開催報告（7月31日）
- ・リーダーシップ教育効果測定アンケート実施報告（前期分）
- ・グローバル女性リーダー育成のためのソフトスキルプログラムについて
- ・徽音塾 春学期講座の報告、秋学期講座のお知らせ
- ・前期グローバルリーダーシップ研究所関連授業報告
- ・後期グローバルリーダーシップ研究所関連授業のお知らせ
- ・研究所からのお知らせ

## 新研究所長・副研究所長就任の挨拶

### ご挨拶

お茶の水女子大学 理事・副学長  
グローバル女性リーダー育成研究機構長  
グローバルリーダーシップ研究所 研究所長  
佐々木泰子

2015年にグローバルリーダーシップ研究所が組織されて、6年目を迎えました。

本研究所は、これまで、リーダーシップ研究や男女共同参画の推進などでグローバルに活躍する卓越した女性リーダーの輩出を使命に、海外機関との連携、学際的国際共同研究、学部・大学院におけるリーダーシップ教育などに取組んでまいりました。

今年度は、女性研究者支援など恒常的に実施できている取組がある一方、新型コロナウイルス感染の拡大によって海外からの研究者招聘や学生の海外派遣など計画どおりに進められていない取組もあります。

しかし、オンラインを活用したセミナーの開催や学生交流をプラットフォームにした海外連携や徽音塾の運営など、ICTを活用した取組に全く新たな可能性も感じられるようになってきています。

今後も、時宜に合った革新に向けてチャレンジし続けることによって、男女ともに輝ける社会の実現のために貢献してまいりたいと思っています。

変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



### グローバルリーダーシップ研究所の未来

グローバルリーダーシップ研究所 副研究所長  
小林誠

2019年度に続き、研究所の仕事に携わることになりました。今回は2名の副研究所長のうちの1人です。大学の戦略的な重点領域がいくつかあって、研究所はそ

の中核にあります。女性が果たすべきリーダーシップを、研究上でも、教育上でも、大学の実践的な運営においても進めなければなりません。日本における女性の社会的位置を考える場合、グローバル資本主義の再編の中での福祉国家の解体という文脈を看過すべきではないと考えています。支払われない労働を公的奉仕の美名で拡大しながら女性リーダーという榮譽を使って労働強化を導く市場の論理に引き込まれることなく、創発的な楽しい女性リーダーのあり方を模索してみたいと思います。



### 副研究所長就任にあたって

グローバルリーダーシップ研究所 副研究所長  
本林響子

4月よりグローバルリーダーシップ研究所副研究所長を務めております本林と申します。お茶の水女子大学のリーダーシップ養成に関する研究・教育の拠点である当研究所でこの度このようなお役目を頂戴し、身の引き締まる思いです。

私はこれまで、大学院留学や本学の研究者派遣制度等を通じて、海外においても多くのリーダーの方々との意見交換をする機会に恵まれました。その経験を通じて、「よきリーダー」のかたちは実に多様である一方で、何かそういう方々に共通するビジョンや人間性のようなものもあるのではないかと感じております。

そういった「よきリーダーシップ」の普遍性と個別性を、これから皆様と共に考えていければと存じます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。



# IGLオンラインセミナー「インドネシアにおける女性リーダーシップ：リーダーとしてのアイデンティティ形成の観点から」開催報告

2020年7月31日（金）10:40~12:10、IGL主催のオンラインセミナーをZoomにより開催した。（配信は大学院人間文化創成科学研究科・全学共用研究棟604大会議室より、一部教職員が集まって行った）。

本セミナーでは、「インドネシアにおける女性リーダーシップ：リーダーとしてのアイデンティティ形成の観点から」（Women Leaders in Indonesia: The Development of their Identities as Leaders）というテーマで、コリーナ・リアントプトラ先生（インドネシア大学心理学部准教授）にご登壇いただいた。前半ではインドネシア文化の概要と女性リーダーの歴史、後半では女性リーダーのアイデンティティに影響を与える各種要因を実証的に研究したリアントプトラ先生のご報告について報告がなされた。

当イベントは学内限定のものだったが、当日は学部学生、大学院生、研究生、教員、職員など30名以上の参加があり、当該テーマへの関心の高さがうかがわれた。



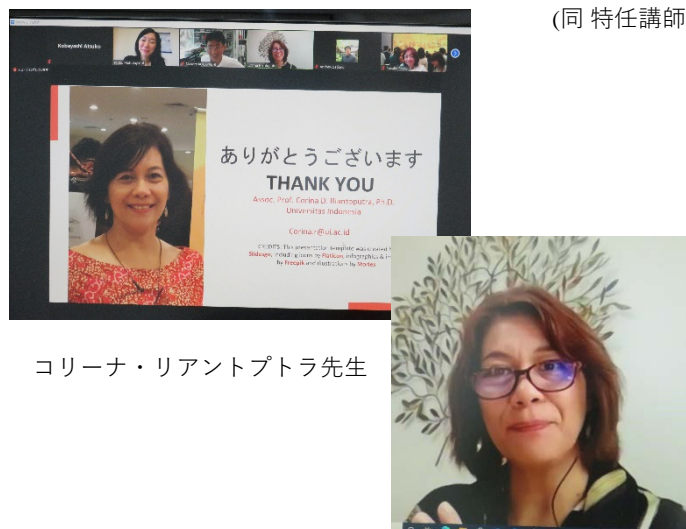
配信の様子

報告の後、本学教授・グローバルリーダーシップ研究所副研究所長の小林誠教授がコメンテーターを務め、リアントプトラ先生からの返答も交えて、さらに議論を深めることができた。

続く質疑応答では、ジェンダー社会学専攻の大学院生、および心理学専攻の学部学生各一名から質問があり、リアントプトラ先生より丁寧な回答があった。

今後も継続して情報交換、協働していく可能性についても示唆され、有意義な会となった。最後には先方の発案でZoom上で記念撮影を行うなど、和気藹々とした雰囲気であったのも印象的であった。

文責：本林響子  
(グローバルリーダーシップ研究所 副研究所長)  
郭麗娟  
(同 特任講師)



コリーナ・リアントプトラ先生

## リーダーシップ教育効果測定アンケート実施報告（前期分）

グローバルリーダーシップ研究所（IGL）は、キャリアデザインプログラム（CDP）基幹科目13科目のうちリーダーシップ養成科目として6科目を提供・担当しています。当研究所は、2017年度よりこの6科目を受講した学生がどのような力を身に着けたのかを明らかにするリーダーシップ教育効果測定アンケート調査を毎年実施してきました。この調査結果は『高等教育と学生支援』（お茶の水女子大学紀要）に掲載しています。

また、2020年度にはIGL、教学IR・教育開発・学修センター、学生・キャリア支援センターが協同して、本学オリジナルの「コンピテンシーチェックプログラム（CCP）」を開発しました。IGLはこのCCPの中に研究プロジェクト「リーダーシップ育成プログラムの開発・実践と教育効果検証指標の開発・活用」の一つとして、リーダーシップの発揮につながると考える25項目の特性をはかる評価項目を設定しました。

2020年度のリーダーシップ教育効果測定アンケートは、2017年度から用いてきた評価項目を見直し、CCPでIGLが設定した25項目を活用して「キャリアデザインプログラムリーダーシップ開発チェックリスト」を開発・運営し、実施することにしました。前期授業では「お茶の水女子大学論」、「パーソナル・ブランディング」、「女性のキャリアと法制度」の3科目において、授業開始時（5月末～6月上旬）と授業終了時（8月上旬）にチェックリストを用いて調査を実施しました。3科目の受講者数、回答者数、回答割合は表1の通りです。現在、調査結果の分析を進めており、まとも次第、公開する予定です。

文責：内藤章江  
(グローバルリーダーシップ研究所 特任講師)

表1 2020年度 前期授業におけるリーダーシップ教育効果測定アンケート回答者数

調査対象授業	受講者数	授業開始時		授業終了時	
		回答者数	回答割合	回答者数	回答割合
お茶の水女子大学論	289	189	65.4%	131	45.3%
パーソナル・ブランディング	56	50	89.3%	49	87.5%
女性のキャリアと法制度	18	12	66.7%	12	66.7%
合計	363	251	69.1%	192	52.9%

\*授業終了時の回答者数は2020年9月7日までに回答した人数を示している。

# グローバル女性リーダー育成のためのソフトスキルプログラムについて

グローバル女性リーダー育成のためのソフトスキルプログラムは、前期と後期の2つの授業「グローバル・リーダーシップ実習I」と「グローバル・リーダーシップ実習II」で構成されています。本プログラムは次世代の女性リーダーを育成することを目的としており、学生は授業で学んだリーダーシップスキルを実践できるように、大学の内外で提供される様々な機会を活用し、社会やコミュニティとのつながりのなかで国連サミットが掲げるSDGsのような現代的諸課題を意識しながら自らのテーマを見出し、自己の成長にとどまることのない、より広い意味でのリーダーシップを探究します。

本プログラムで核となるのは、リーダーシップに欠かすことのできないソフトスキルに特化したイタリアでの短期研修です。ソフトスキルとは、未来の働き方を考えたときにAI（人口知能）ではカバーすることのできない、チームワーク、創造性、意欲や挑戦、決断力、時間管理、問題解決等に関する汎用的スキルのことを指します。プログ

ラム期間中にバヴィア大学の女子カレッジ、コッレージョ・ヌオーヴォに滞在しながら、現地の学生とソフトスキルやリーダーシップについて共に学び、これら実践から国際社会で協同していくことのイメージを本格的なキャリア形成の前に習得します。

今年度は、選考で選ばれた13名が履修していますが、初回授業からオンラインでの実施が続いています。それがハンデとならないように授業運営にも様々な工夫を取り入れ、9月にはふりかえりのための教員との面談、10月にはコッレージョ・ヌオーヴォの学生とのオンライン合同授業、11月には学生が企画・運営するシンポジウム開催を予定しています。関係する教職員スタッフは、学生のこれからの活躍を願い、このプログラムを通じて学生が自らのリーダーシップスキルに磨きをかけ、自信を持って社会へと飛び立てるよう支援することを大切にしています。

文責：岡村利恵  
(グローバルリーダーシップ研究所 特任講師)

## 徽音塾 春学期講座の報告、秋学期講座のお知らせ

2020年度徽音塾春学期講座はオンライン特別講座(6月~8月)を開講し、遠方の方や子育て中の方たちが参加してくださり、好評の内に終了しました。秋学期も引き続きオンライン講座を実施し、9月講座「財務会計」が9月5日よりスタートしました。

オンライン開講サービスとしてただいま「入塾料なし」、「受講料値下げ」中です。この機会にご参加いただければ幸いです。講座は土曜日の13時半~16時40分に開講しています。(※日曜開講の場合もあり。)詳しくは下記のQRコードからHPをご覧ください。

### 【秋学期11月：マーケティング／経営戦略】

※部分受講ができます

「マーケティング入門」11.7(土) / 11.15(日)

神原理 [専修大学 商学部 教授]

「経営戦略の基礎」11.21(土) / 12.5(土)

露木 恵美子 [中央大学大学院 戦略経営研究科 (ビジネススクール) 研究科長]

### 《トライアル講座10月講座1：災害時の地図と食》

※2つの内容が受講できるスペシャル講座です

①「身近な地域で災害に関する地図を作ってみよう」10.10(土) 13:30~15:00

長谷川 直子 [お茶の水女子大学 基幹研究院 人間科学系 准教授 (地理)]

②「家族と地域の健康を守る災害時の食事」10.10(土) 15:10~16:40

須藤 紀子 [お茶の水女子大学 基幹研究院 自然科学系 准教授 (災害栄養)]

### 《トライアル講座10月講座2：ビジネスパーソンの教養：哲学》

「西洋哲学の伝統から探る社会的リーダーの要件」

10.24(土)

中野 裕考 [お茶の水女子大学 基幹研究院 文化科学系 准教授 (哲学)]

### 《トライアル講座11月：ビジネスパーソンの教養：日本文学》

「日本古典文学の発想と遊び」11.28(土)

森 暁子 [お茶の水女子大学 グローバルリーダーシップ研究所 特任アソシエイトフェロー]

### 《トライアル講座12月：ビジネスパーソンの教養：美術鑑賞》

「対話で楽しむ美術鑑賞／女性アーティストの歴史」12.12(土)

林 有維 [お茶の水女子大学 グローバルリーダーシップ研究所 特任アソシエイトフェロー]

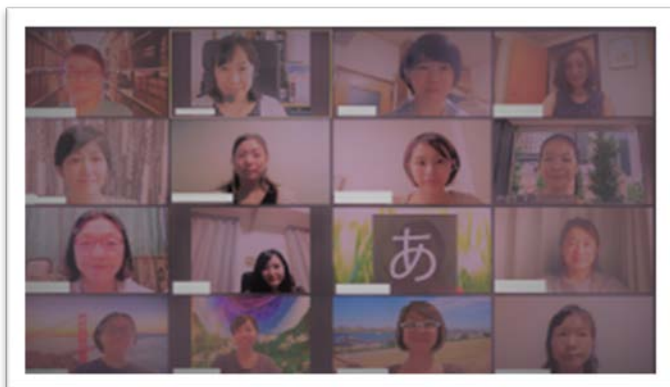
徽音塾HP



お申込みURL



文責：林有維  
(グローバルリーダーシップ研究所 特任アソシエイトフェロー)



オンライン特別講座(6月~8月)



## 「お茶の水女子大学論」

(キャリアデザインプログラム基幹科目)

今年の「お茶の水女子大学論」は、オンライン形式（Zoomによる同時配信やMoodleでの課題提出）で開催しました。聴講を含めて約280名が受講し、マイクやチャット、投票など様々なツールを用いて、講義ならびに講師と受講生との双方向のやり取りを行いました。基本的に講義は講師の職場や自宅から配信しましたが、室伏きみ子先生による学長講演では、大学本館306室より配信し、実際に学生が教室で聞いている雰囲気の中で講義が行われました（写真）。

この授業は、キャリアデザインプログラム基幹科目の中でも同プログラム全体のマインドセットとして位置付けられている授業で、大きく3つの内容に分かれています。第一に、学生は、お茶の水女子大学論やキャリアデザインプログラムの概要についてオリエンテーションを受けた後、学長や歴史学の専門家から、お茶の水女子大学の歴史、教育理念、現在の活動や学生支援などを学びます。第二に、ロールモデル講演（民間企業、公的機関等の組織で、または、個人事業主として働く卒業生が登壇）を通じて、学生は、自身の将来のキャリアパスについて、今何を学ぶべきかを考えます。第三に、企業の仕組みや会社経営、起業、学内で行えるインターンシップについても学ぶことによって、就職活動について俯瞰的に捉えることを学びます。これらのことを通じて、学生が自身の将来への可能性を展望し、専門分野の学習に対するモチベーションの向上が期待されています。

受講者からは、「お茶大が女性の社会や学問への参加、または女性リーダーを積極的に応援することは以前から知っていましたが、何回も先生方

などからこういったメッセージが聞けるのはとてもよかったです」と、「お茶大について色々理解が深まったり、卒業後の進路について考えたりすることができました」、「前期の間、この授業で講演者の方々のキャリアについて学ぶことが、自分のキャリアについて考える機会につながりました」といった感想が寄せられました。

なお、グローバルリーダーシップ研究所（IGL）は、キャリアデザインプログラム基幹科目のうち、IGL主催科目を対象に実施してきた「リーダーシップ教育に関するアンケート」（2017~2019年度実施）を改訂し、2020年度より「キャリアデザインプログラムリーダーシップ開発チェックリスト」を開発・運営しています。「お茶の水女子大学論」の最終回では、大木特任講師が同チェックリストの回答者の概要や重要な項目の速報値を解説し、授業終了時の同チェックリストの記入を呼び掛けました。

授業担当：大木直子  
(グローバルリーダーシップ研究所 特任講師)



学長講演

## 「パーソナルブランディング／女性リーダーへの道（入門編）」

(キャリアデザインプログラム基幹科目)

本講座では、①内面：自分の強みや可能性を知る、②外見：自身の見た目は何を伝えているのかを知る、③伝え方：態度や表情・話し方などによる違いについて、理論と実践を交えながら学びを深め、自身の「個」を磨きつつ、自分の強みや可能性を意識的かつ強力に伝達し、記憶に残してもらう方法を教授しました。受講生は56名であり、すべての授業をオンラインツール（Zoom）にて実施しました。

感想として「今まで私は人に断言できるような自分のアピールポイントなどないなと思っていてかなり苦手意識をもっていました。自己紹介をするときも、人に覚えてもらいたいなと思いつつも特に変わったことは言わずに無難なことしか言っていませんでした。でもこの授業を受けて、誰で

も必ずその人にしかない個性を持っていることを知り、それを伝えることは自分をその場所で最大限活かしてもらうための有力な手段なんだと気づきました。」、「全ての授業がきちんと繋がっていて、毎回毎回到りに学びがある上に、それを活かして次の授業に繋がるという形で、オンラインを生かした学びができており、とても画期的で興味深い授業でした。今後の自分に活かせる非常に重要な考え方とスキルを知ることができたと思います。」などを得ました。

講義に対する満足度も高く（とても満足45名、満足11名）、ほとんどの受講生（55名/56名中）が本講義を「今後とても役に立つ」と回答し、講義を通じて考え方や行動が変わった学生（大いに変わった26名、少し変わった30名）が多数みられました。

授業担当：内藤章江  
(グローバルリーダーシップ研究所 特任講師)

## 「女性のキャリアと法制度／働く女性の権利と地位」

(キャリアデザインプログラム基幹科目)

今年の「女性のキャリアと法制度」は、オンライン形式（Zoomによる同時配信やMoodleでの課題提出）で開催しました。計18名が受講し、講義、学生によるプレゼンテーション、グループディスカッションなど様々な形式で受講生との双方向の授業を実施しました。

この授業は、学生ははじめに、ジェンダー概念や、ジェンダー視点から働くことを学びます。その後、ジェンダー平等に関する国際統計や日本のジェンダー平等政策の歴史、女性の職業生活にかかわる日本の法律・制度、「女性活躍」や企業によるLGBT支援、職場のハラスメントといった最近のトピックについて知識を深め、「働くこと」や学生自身のライフコースについて分析・考察しました。

これらの内容を、講義だけでなく、グループディスカッションやプレゼンテーション、学生同士の講評、レポート課題などを通じて実施しました。中間レポートおよびプレゼンテーションでは女性のキャリアに関する著書や論文をレビューすることを課題としました。

期末プレゼンテーションについては、中間レポートの内容やこれまで授業で学んだことを踏まえ、女性の労働や将来のキャリア・パスについての自分の考えを発表する場として実施しました。

オンライン形式の講義だけでなく、双方向的なアクティブ・ラーニングにより学生は、他の受講生と知識や情報を共有し、より効果的なプレゼンテーションや文章表現などについて深く学ぶことができました。

受講者からは、「日本の雇用制度について詳しく知ることができ、自分の認識とは違う部分もあり、すごく勉強になった」、「労働基準法における規定を初めて詳しく知ったので、これから働く上でとても参考になると思いました」、「コロナの影響による解雇についてニュースを見てすごく気になっていたので取り上げていただけて良かったです」、「発表の仕方について教えていただいたのが、実践的で良かったです」といった感想が寄せられました。

授業担当：大木直子

(グローバルリーダーシップ研究所 特任講師)

## 「未来起点ゼミ／未来起点研究」

株式会社ブリヂストンと本学は未来の女性リーダーの創出を狙い、社会連携講座「未来起点ゼミ（大学院では未来起点研究）」を2019年度より開講し、今年で2年目を迎えました。このゼミはお茶の水女子大学附属学校園の連携を活かし、高校から大学院までの共通科目とし、ブリヂストン社員と本学教員が担当する新しい形式のゼミです。

授業のテーマは10年後、20年後の未来を起点とし、日本と世界の課題を提示することであり、学生間、外部講師や教員との対話によるアクティブラーニングによって、どのような未来を創るのかを学生自身が考えていきます。前期は、自分の願望/軸を明確にし、未来を創る思考力、表現力、実行力を身につけてもらうよう、表現、プレゼン、システム思考、グラフィックレコーディングの専門家を招き、講義とワークショップを通して、実現したい社会と自分のやりたいことを具体的に描くことを目標にしました。

2020年度前期の受講生は高校生3名、大学1年生10名、2年生8名、3年生2名、4年生1名、修士1年1名、博士1年1名、合計26名です。また、昨年度の「未来起点ゼミ」の受講生3名が、自身の提言内容の実践に加え、サポーターとして「未来起点ゼミ」に参加しています。

今年オンライン講義となりましたが、講義中、ブレイクアウトルームを使って、学生同士の対話の機会を多く設けました。多くの学生から、受講してよかったとの感想をもらいました。

後期は、ワークショップを中心に、各自のテーマや企画の進捗状況をさらにブラッシュアップしてもらい、未来起点フォーラムで提言してもらうことを目標にしています。

授業担当：郭麗娟

(グローバルリーダーシップ研究所 特任講師)



ゼミの配信風景

## 後期グローバルリーダーシップ研究所関連授業のお知らせ

グローバルリーダーシップ研究所では、2020年度後期に以下の授業の開講を予定しています。学生の皆さんの積極的な受講を歓迎します。

\*入学年度によって科目コードが異なりますので注意してください。

\*CDP：キャリアデザインプログラム基幹科目の授業です。

授業名	開講時期	内容
女性のキャリアと経済 [20N0092] ／女性リーダーへの道（ロールモデル入門編） [20N0003]（学部）〔CDP〕	火曜 9・10限	商社・小売・金融・マスコミなど第一線で活躍中のゲスト講師の講演から、仕事やキャリア展開を考える授業です。
ファシリテーション [20N0093] ／女性リーダーへの道（実践入門編） [20N0004]（学部）〔CDP〕	火曜 7・8限	企業から出された課題に対し、グループで解決案を策定し、プレゼンしてもらいます。このプロセスを通してファシリテーションの手法を身につけます。
ダイバーシティ論 [20N0095]（学部）〔CDP〕	火曜 7・8限	特に組織におけるダイバーシティに焦点を当てながら女性のリーダーシップについても学びます。ダイバーシティを推し進めるにはどのような「仕組み」が有効なのか、アクティブ・ラーニングやインタラクティブな授業を通じて履修生と一緒に考えます。
未来起点ゼミII [20N0221]（学部） 未来起点研究II [20S0271]（大学院）  未来起点ゼミIV [20N0223]（学部）	隔週木曜 9・10限	「未来起点ゼミII」での自己の提言内容の実践 ・自己の提言内容の策定・修正・実践 ・自身の活動報告（未来起点フォーラム） 「未来起点ゼミII」の支援 ・未来起点ゼミワークショップのサポート ・ゼミ生と対話・未来起点ゼミフォーラムのサポート
アカデミック女性リーダーへの道（実践編） [20S0132]（大学院）	1/25、2/1 2/8、2/10	研究申請およびプレゼンテーションの知識やスキルを高める授業です。
キャリア開発特論（基礎編） [20S2006]（大学院）	10/17、10/31 11/14、11/28 12/12	外資系コンサルティング会社のアクセンチュア株式会社との協力で、仕事・キャリアについて学び、考える講座です。
リーダーシップ国際演習I [20S0258]（大学院）	火曜 5・6限	韓国のSung-Nam Cho特別招聘教授担当授業の講義ですが、9月現在、コロナ情勢により来日が延期しています。来日予定が決まり次第発表します。
グローバル・リーダーシップ実習II [20B2100]（学部）	2月または 3月	授業で学んだリーダーシップスキルを実践できるように、大学の内外で提供される様々な機会を活用し、社会やコミュニティとのつながりのなかで国連サミットが掲げるSDGsのような現代的諸課題を意識しながら自らのテーマを見出し、自己の成長にとどまることのない、より広い意味でのリーダーシップを探求します。

## 研究所からのお知らせ

・「令和元年度 成果報告書」を発行いたしました。研究所のホームページからも閲覧できます。

・グローバルリーダーシップ研究所で支援している「学生等海外派遣プログラム」は新型コロナウイルスの感染の世界的流行により、今年度は中止とする決定をいたしました。応募をご検討いただいた学生・研究者の皆さまには誠に申し訳ありませんが、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

【発行元】 国立大学法人お茶の水女子大学 グローバルリーダーシップ研究所

〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1 人間文化創成科学研究科棟506室

Tel/Fax: 03(5978)5520

E-mail: info-leader@cc.ocha.ac.jp

URL: <http://www.cf.ocha.ac.jp/igl/>